

主題：神の奥義の執事

メッセージ 5

旧約の預言の成就における神の奥義としてのキリスト（4）

聖書：イザヤ53:3-6, 9, 12. 詩103:1-5

X. キリストは悲しみの人であり（文字通りには痛み）、さげすまれ、人々に捨てられました——イザヤ53:3. 詩22:6-7. ルカ22:28, 23:11. マタイ27:39. ヨハネ1:10-13:

- A. キリストには、「その主要な特徴がありました。それは、彼の生活が恒常的な痛みを伴う忍耐の生活であったということです」（ケールとデリチ）——参照、II テサロニケ3:5. 啓2:10後半。
- B. 神全体として、神の力としてのエホバの御腕によって表徴されているように、キリストは悲しみの人によって表徴されているように、復活において完全な人です——イザヤ53:1, 51:9. I コリント1:22-24. ヨハネ11:35。
- C. キリストの唯一の享受は、彼の供給としての御父と御父のみこころでした——イザヤ7:14-15. ヨハネ4:34, 5:17, 17:4. エペソ4:20-21。
- D. わたしたちはキリストの苦難の交わりにおいてキリストを知り、彼のからだを建造する必要があります——ピリピ3:10. コロサイ1:24. マタイ11:20, 25-30. イザヤ42:4。
- E. わたしたちの外なる人は朽ちていきますが、わたしたちの内なる人は日ごとに新しくされていきます。世にあってわたしたちには苦難がありますが、キリストにあってわたしたちには平安があり、この世の支配者はわたしたちに触れることはできません——II コリント4:16. ヨハネ16:33, 14:30. I ヨハネ5:4。

XI. キリストは二人の犯罪者と共に処刑された方です——イザヤ53:12, 9前半. ルカ23:32-33:

- A. 十字架を通してキリストによって救われた最初の人、紳士ではなく、死刑を宣告された犯罪者、強盗でした。これはとても意義深いです——マタイ27:38. ルカ23:42-43:
- B. わたしたちのバイタルグループが優勢であることの証拠とは、わたしたちが人々を何の差別もなく愛することです——マタイ9:11-13。
- C. わたしたちは再生されて神の種族、神の種類となりました。これが意味するのは、わたしたちがただ他の人を愛するだけではなく、わたしたちが愛そのものであるということです。神が欲するのは、わたしたちが天然の愛をもって愛するのではなく、わたしたちの愛としての彼をもって愛することです。——I ヨハネ4:8, 19。
- D. 神は、墮落してご自身の敵となった人類を愛されます。それは、邪悪な者にも善なる者にも彼の太陽（キリストを表徴する）を昇らせ、正しい者にも不正な

者にも雨（その霊を表徴する）を降らせることによります。こうして、わたしたちは取税人と異邦人から聖別されている天の御父の子たちとなります——マタイ5:43-48。

XII. キリストは、「わたしたちの違犯のゆえに傷つけられ、わたしたちの罪科のゆえに砕かれたのである。わたしたちの平安のために懲らしめが彼に臨み、彼の打たれた傷によって、わたしたちはいやされた」——イザヤ53:5：

A. キリストは十字架上でわたしたちの病を負い、わたしたちの悲しみを担われた方です——4節、マタイ8:17。詩103:1-5：

1. 「わが魂よ、エホバをほめたたえよ（褒める、称賛をもって賛美する）。彼のすべての恩恵を忘れるな。彼はあなたのすべての罪科を赦し、あなたのすべての病をいやし」——2-3節。
2. 病と悲しみは、違反と罪科のように罪に由来します。そのゆえに、それらもまたキリストと贖いを必要とします——イザヤ53:5。マタイ8:17。

B. ペテロの第一の手紙第2章24節は、わたしたちがキリストの打たれた傷によっていやされたと言います。キリストの苦難の死はわたしたちの死をいやしました。それは、わたしたちが彼の復活の中で生きるためです：

1. 敵の頭を打ち砕き、敵にキリストのかかとを打ち砕かせることによって（創3:15。詩22:16）、わたしたちはいやされます（ヘブル2:14。Iヨハネ3:8）。
2. 今やキリストはわたしたちの死をいやしてわたしたちを生かしたので、わたしたちの内側の命の与える霊のゆえに、わたしたちは常に義に対する意図と傾向をもって生きます。命を与える霊は、わたしたちの内側で絶えず働いて、わたしたちの存在の中で十字架の主観的な面を遂行しています——Iペテロ2:24。Iコリント15:45後半。
3. キリストは、わたしたちの魂の牧者また監督者であり、霊にしたがって義の道歩くようにわたしたちを導きます——Iペテロ2:25。ローマ8:4。詩23:3。
4. わたしたちが十字架を経験し、十字架につけられた生活を生きたとき、キリストの復活の命はわたしたちのいやす力となり、主はわたしたちのいやす命となって、わたしたちの苦い状況とわたしたちの存在の中の苦さをいやします——出15:22-26。

C. 十字架につけられたキリストを命を与える霊として、すなわち、わたしたちにとっての神の力と知恵として享受することによって、わたしたちの日常生活と召会生活におけるすべての問題は解決されます——Iコリント1:24, 30。2:2。15:45後半。

XIII. キリストは死に至るまでも魂を注ぎ出した方でした。これは彼がご自身の契約の血を注ぎ出すことでした——イザヤ53:12。ピリピ2:8。マルコ14:24：

A. 契約の血は、わたしたちを至聖所における神の臨在の中へと、神ご自身の中へと、神を見つめ、神を食べ、神を飲むことによる神の完全な享受の中へともたらしめます。——出24:8-11。ヘブル8:10-12。10:19-20。啓22:1-2, 14, 17。

- B. 「命（魂）は血の中にあるからである」（レビ17:11, 14）。キリストの不朽の血が注ぎ出された時、魂の命からのすべてのもの、天然の命が注ぎ出されました。血を注ぎ出すことは、天然のものをすべて取り除くことです（わたしたちが獲得し、また誕生によって受け継いだすべてのもの）——。
- C. キリストはご自身の血を注ぎ出した時、わたしたちの自己も注ぎ出したので、わたしたちは自己を持たないことができます。これが、キリストと共に十字架につけられた「わたし」です。今やキリストがその中に生きている「わたし」は、神の御子の信仰によって生きることができます——ガラテヤ2:20。
- D. キリストはわたしたちのために死なただけではなく、またわたしたちとして死なれました。彼が死なれた時、わたしたちも死にました。すなわち、彼が葬られ、復活させられ、昇天された時、わたしたちも葬られ、復活させられ、昇天されました——19-20節。ローマ6:3-5。エペソ2:5-6。詩歌483番、1節。
- E. わたしたちは絶えずこの事実の上に立ち、霊を活用して、自己を否んで十字架につける霊によって歩かなければなりません——ピリピ1:19-21。ガラテヤ5:16, 24-26。
- F. キリストの愛がわたしたちに押し迫っています。一人の方がわたしたちのために死なれたからには（わたしたちの身代わりとしてのキリスト）、すべての人が死んだのです（キリストの中でわたしたちの接ぎ木された命として）。これは、わたしたちがもはや自分自身ではなく、わたしたちのために死んで復活させられた方に生きるためです——IIコリント5:14-15。ガラテヤ2:19-20。

XIV. キリストはエホバがわたしたちの罪科を負わせた方であり、わたしたちの罪科を担い、わたしたちのために罪とされました——イザヤ53:6, 11-12。Iペテロ2:24。Iコリント15:3。ヘブル9:28。IIコリント5:21：

- A. 神は彼の義の要求を満たすことなしに、罪深い人々を赦すことはできません（詩103:6-7）。彼の義によれば、「罪を犯す魂は死」に（エゼキエル18:4）、「罪の報酬は死です」（ローマ6:23）。
 1. 義なる方であるキリストは、神の義にしたがった義なる神によって、不義なわたしたちのために裁かれました。それは、彼がわたしたちの罪の障害を取り除き、神にもたらされることのできるためです——Iペテロ3:18。
 2. イエスは十字架上でわたしたちのために罪とされ、肉の中にある罪を罪定めし、またわたしたちのために死ぬことによって、神のすべての義を満たされました。今や神は彼の義のゆえにわたしたちを赦さなければなりません——IIコリント5:21。ローマ8:3。Iヨハネ1:9。
- B. キリストは自ら進んで罪のためのささげ物とされました。それはその総合計における罪のためのささげ物について指しています——イザヤ53:10。ヨハネ1:29。Iヨハネ1:8-9。
- C. わたしたちのささげ物としてのキリストに手を置くことによって、わたしたちは彼と結合し、彼とわたしたちは一となります。そのような結合において、わたしたちのすべての弱さ、欠点、失敗は彼によって負われ、彼のすべての美德はわたしたちのものとなります——レビ1:4前半。

1. 神聖な光の中で、わたしたちの罪を告白することをもって、キリストを違犯のためのささげ物とすることは、わたしたちが新エルサレムとなるための生ける水としてのキリストを飲む道です——Ⅰヨハネ1:8-9. ヨハネ4:14-18。
2. わたしたちの罪を告白することをもって、キリストを違犯のためのささげ物とすることは、命の円熟に至る命における成長のために、命の交わりの中にわたしたち自身を保つ道です——Ⅰヨハネ1:2-3, 5-9. 使徒24:16。
3. 罪の赦しを受けるためにキリストを違犯のためのささげ物とすることは、神を畏れ、神を愛するという結果になります——詩130:4. ルカ7:47-50。
- D. 罪を対処する命としてのキリストを聖徒たちに供給することは、病原菌を殺し、問題を破壊し、その霊の一を維持します——ヨハネ8:10-12. Ⅰヨハネ5:16. ローマ2:4後半. レビ10:17. ガラテヤ6:1。

XV. キリストは骨が砕かれなかった方であって、これは出エジプト第12章46節において予表され、詩篇第34篇20節において預言され、ヨハネ第19章32節から36節において成就されています：

- A. イスラエルの子供たちは過越の小羊のどの骨も砕きませんでした。主イエスが十字架に付けられたとき、彼の骨は砕かれませんでした——出12:46. ヨハネ 19:33, 36。
- B. キリストの砕かれなかった骨は、砕かれず、破壊されない永遠の命であり、彼の命をわたしたちの中へと注入します——創2:21-23. ヘブル7:16. Ⅱコリント 3:6. Ⅰコリント15:45後半：
 1. あばら骨、骨がアダムのわき腹から取られたことは、復活の命を表徴します。神はアダムのあばら骨をもって女を建造されました。今や神はキリストの復活の命をもって召会を建造しておられます——エペソ5:25-27。
 2. エバがアダムの一部分であるように、召会もキリストの一部分です。アダムとエバが「アダム」と呼ばれているように、キリストと召会は「キリスト」と呼ばれています——5:30-32. 創5:2. Ⅰコリント12:12。
 3. アダムとエバが一つの肉であったように、キリストと召会是一个霊です——エペソ5:30-32. Ⅰコリント6:17。
 4. キリストの砕かれぬ、破壊されない永遠の命は、命をわたしたちの中に注入し、わたしたちを建造して、究極的なエバ、すなわち、新エルサレムとならせます。